

ICD2 Adapter 16(ICD-ADP16)マニュアル

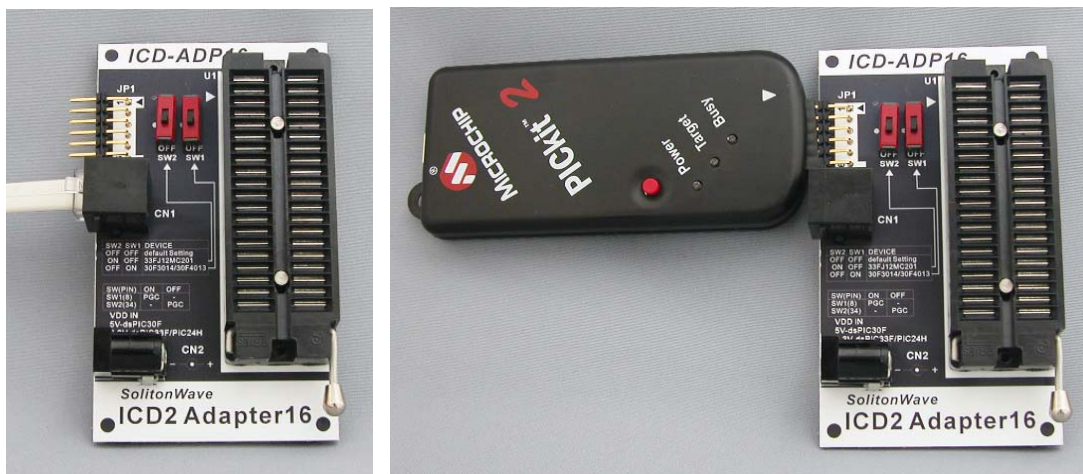
ICD-ADP16は、PIC-ICD2やPICKit2のような、ICSP専用のPICデバイス書き込み器で、付属の ZIF ソケットを使って、DIP タイプのデバイスを書き込むためのアダプタです。PIC-ICD2 などの ICSP のケーブルを、ICD-ADP16 のヘッダピンに接続するだけで、DIP タイプの PIC デバイスの書き込みを簡単に行うことができます。

- ・ 対応デバイス 40ピンまでの16ビットタイプのPICデバイス
(dsPIC30F/dsPIC33F/PIC24H シリーズ)
- ・ JP1 ヘッダピンタイプの ICSP ケーブルまたは PICKit2 接続用
- ・ CN1 モジュラケーブルタイプの ICSP ケーブル接続用
- ・ SW1/SW2 デバイス選択スイッチ(通常は全て OFF)
- ・ CN2 外部電源供給用 (オプション)

※8ビットタイプのPICシリーズ(PIC10/12/16/18シリーズ)には、対応していません。これらのデバイスには、ICD-ADPを使用してください。

■使用方法

ケーブルのタイプに合わせ、JP1 または CN1 に ICSP ケーブルを接続し、書き込むデバイスの1番ピンが、ZIF ソケットの1番ピンマークの位置になるよう、デバイスを ZIF ソケットの最上部に合わせて装着し、書き込みを行ってください。次の図は、16F57 デバイスと8ピンデバイスを使用した場合の接続例です。ICSP ケーブルの接続位置と、デバイスの1ピンの位置が同じになっていることに注意してください。1ピンの位置には、基板上に三角のマークがありますので、こちらも確認してください。



図：モジュラケーブルの接続例（左）と PICKit2 との接続例（右）

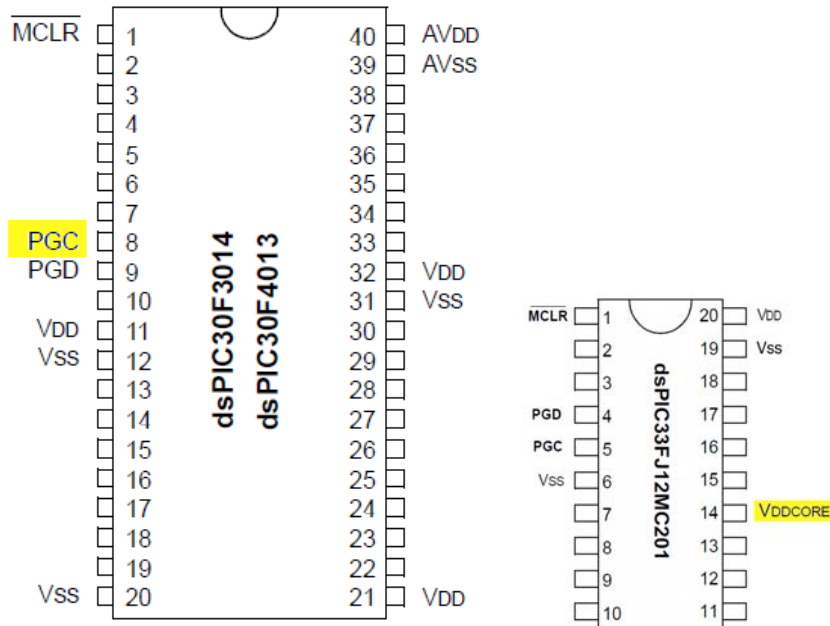
■スイッチの設定

SW1 と SW2 は、通常は両方とも OFF の位置で使います。

dsPIC30F3014 及び dsPIC30F4013 を使用する場合は、SW1 を ON にし、

PIC33FJ12MC201 を使用する場合は、SW2 を ON にします。

これらのデバイスのピン配置を以下に示します。



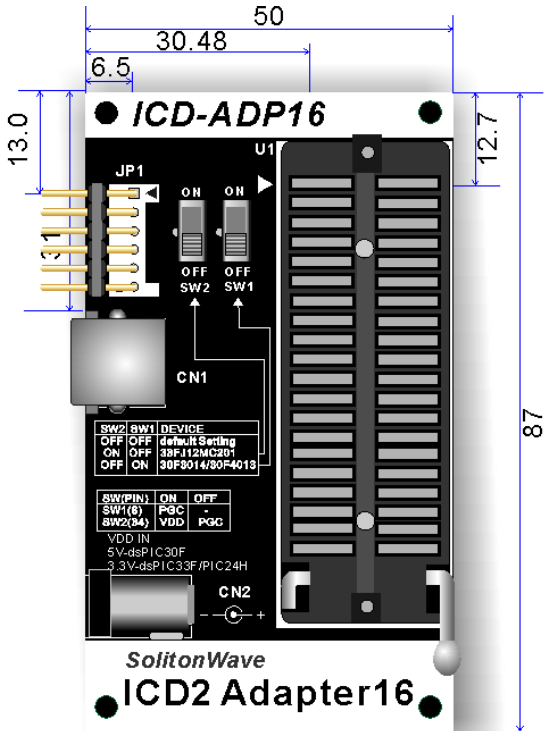
dsPIC30F3014 と dsPIC30F4013 の場合は、8 番ピンが PGC でなければなりません。また、dsPIC33FJ12MC201 は、14 ピンが VDDCORE となっています。

SW1 と SW2 の機能は、次の表のようになります。

SW(PIN No.)	ON	OFF
SW1 (8)	PGC	OPEN
SW2(34)	VDD	PGC

■ 参考資料

外形寸法図



Unit=mm

回路図

